

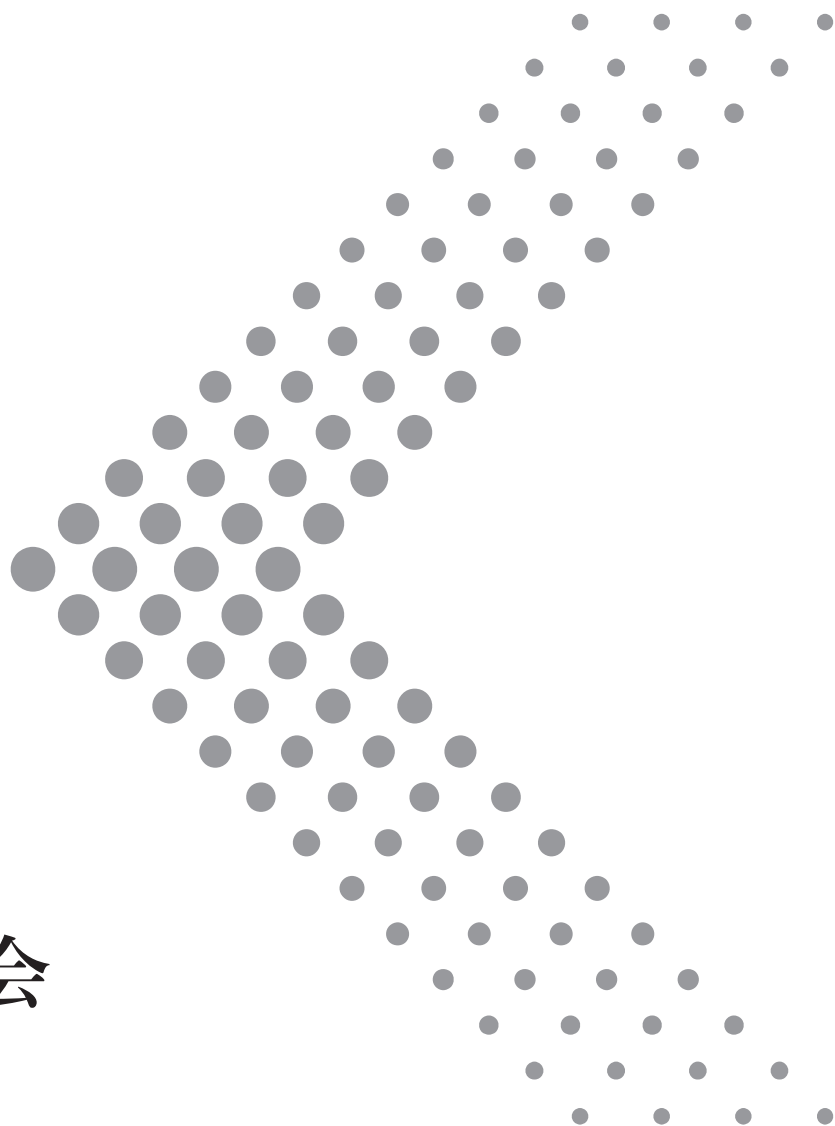
令和7年度

議会報告会・意見交換会

報告書

東大芦地区協議会
南摩地区協議会

鹿沼市議会



議会報告会及び意見交換会の報告書作成にあたって

令和6年11月に開催しました12地区協議会での鹿沼市議会「議会報告会及び意見交換会」に続き、令和7年度では東大芦地区と南摩地区の2つの協議会で開催させていただきました。地区協議会会長、自治会長をはじめ、多くの市民の方々に参加をいただき議会や行政課題、地域の課題について貴重なご意見やご要望などを数多くいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

意見交換会では、「今後の公共施設のあり方について」と「地域の課題について」をテーマに掲げ、ご参加の皆さんから、道路、河川などのインフラに関する課題から公共交通、空き家対策、地域包括ケアシステムでの地域課題、教育関連、人口減少対策などに対する課題について聞かせていただき、現状を把握するために、課題となっている現地の視察と調査も実施いたしました。また緊急で回答を求めたい課題については「ホットライン」として、先行して報告書をまとめました。その上で、地域でいただいたご意見ご要望を鹿沼市議会として内容をまとめ、谷中恵子議長より松井正一市長に提出して、対応策など回答を求めました。

そうした工程をふまえて報告書を作成させていただきました。

今後とも「市民との意見交換会」を開催することで、市民の皆さんとの情報共有を進め、市民の皆さんの貴重な声を政策提言できるよう努めてまいりますので、ご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

結びに、市民の皆さんが将来に希望を持てる鹿沼市の実現に向け、「市民に開かれた議会」を基盤とし、これからも議会運営及び議員活動の活性化を図ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年度実施

「議会報告会・意見交換会」開催実績の概要

地 区	開催日	会 場	参加者数	掲載ページ
東大芦	7月1日（火）	東大芦コミュニティセンター	23 人	P1～P5
南 摩	7月4日（金）	南 摩コミュニティセンター	30 人	P6～P15

地 区	開催日	会 場	参加者数	※令和6年11月に開催した12地区の意見交換会の内容は前編版に掲載。開催地参加者に送付しました。 また、鹿沼市議会ホームページにて閲覧いただけます。
栗 野	11月5日（火）	栗 野コミュニティセンター	31 人	
清 洲	11月8日（金）	清 洲コミュニティセンター	21 人	
中 央	11月9日（土）	総合福祉センター 2階大会議室	56 人	
東 部	11月11日（月）	市民情報センター 5階マルチメディアホール	46 人	
加 蘇	11月11日（月）	加 蘇コミュニティセンター	56 人	
西大芦	11月12日（火）	西大芦コミュニティセンター	18 人	
東部台	11月12日（火）	東部台コミュニティセンター	21 人	
北 部	11月13日（水）	市役所 4階大会議室	26 人	
北犬飼	11月13日（水）	北犬飼コミュニティセンター	38 人	
北押原	11月14日（木）	北押原コミュニティセンター	34 人	
永 野	11月14日（木）	永 野コミュニティセンター	22 人	
南押原	11月22日（金）	南押原コミュニティセンター	8 人	

東大芦地区

開催日：令和7年7月1日（火）

開催場所：東大芦コミュニティセンター

出席議員：大島久幸、佐藤誠、藤田義昭、大貫桂一、橋本勝浩、仲田知史
谷中恵子議長、石川さやか副議長

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
下日向	・西小学校の通学路脇のフェンスが大きく歪んでおり、学童の安全確保の観点から、市での対応を要望。土地改良区での対応が難しい状況であり、市の予算での早期対応を希望。	・現状は土地改良区の予算での対応が求められているが、通学路であり危険性が高いため、予算面に関わらず市で早急に対応すべきとの提案を進めたい。「子どもたちの安全安心が第一」と考え、担当部署と協議の上、現地確認を行い検討したい。 現地確認①	①
	・学校統廃合（2028年予定）の件もあり、子どもたちが農道を通学路として利用している現状を踏まえ、歩道がなく非常に危険な状況である。歩道整備の必要性があるため、早急に現地確認を行い市担当部局と協議、対応を要望。		②
下日向	・農業地帯である当該西地区において、50年以上前の土地改良による用水管、排水管の老朽化が深刻化している現状が報告された。漏水が激しく、必要な時期に水が確保できない状況など切実である。補修にも限界があり、土地改良区の予算だけでは対応困難である。	・広く他の地域でも同様の漏水問題が発生していることを認識しており、農業関係部署と連携して対応を進めたい。 現地確認②	③
上日向	・公民館などの施設を避難施設として各地で指定しているが、東大芦コミュニティセンターは耐震基準に合わず指定できないと聞いている。この現状について市はどのように考えているのか伺う。	・東大芦コミュニティセンターの老朽化に伴い、建て替えや移設の必要性を指摘する議員もいる。「出会いの森」への統廃合や新設の提案もあるが、議会全体としての統一見解はなく、地域振興の観点も含めて今後議論が必要である。	④

番号①～現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として伺った事項（含む情報提供）

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分 類
下日向	・各自治会の活動が少子高齢化の影響で著しく困難になっている。担い手や自治会加入者が減少し、高齢化が進行しているため、活動の維持が難しくなっている。育成会でも子どもの数が減少し、活動が十分に行えない状況が発生している。自治会への支援要請も増加しているが、対応が困難である。「自治会に入ってくれる人がだんだん少なくなる」「五年、十年先、本当に存続できるのか不安」といった将来への懸念がある。 ・調整区域のため新規住宅建設が難しく、人口増加が見込めない地域であることも一因ではないか。	・鹿沼市行政情報の周知等については、どうしても住民に一番身近で信頼の厚い自治会へ頼っているのが現状。しかし指摘されていることも事実で、各地域で課題も異なることから、議会としても課題解決に向け取り組んでいきたい。	⑤
		・中央地区では戸数が15～20戸程度の自治会もあるが、中心市街地のためお祭りを存続させながら、ごみ集配協力などの地域行事も行っている状況。また役員のなり手不足が深刻で、「1回会長になるとなかなかやめられない」との声もあり厳しい現状である。	
		・千渡地区では自治会員約1,200件、年間1,000万円の予算規模でも役員不足が顕著。半数が市役所OBで「役所の下請け」のような状況になっている。民生委員、防犯協会、交通安全協会、PTA、育成会など、地域組織の役割が重複している点も課題だと認識している。今後「縮小社会の中で、やるべきこと・やれないことを整理し、地域で本当に必要な活動を見直すべき」と考えている。	
		・自治会加入については、地域防災活動の強化も並行して進め、そのメリットについて周知するなども必要かと考える。	

番号①～現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
● 議会に対する意見
○ ご意見として伺った事項(含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
下日向	・子育て世代から「雨の日に子どもを遊ばせる屋内施設がない」との声が多く、十数年前から課題として認識されているが、この子育て環境の整備も人口減少対策へ有効と思うが、現在の市の対応状況等について伺う。	・既存の屋内施設は一部にあるものの、空調設備が不十分で、夏は暑く冬は寒いなど利用期間が限定的と認識している。特にゼロ歳児や未就学児が安全に遊べるスペースが不足している。一方、例えばさいたま市では子育て支援施設の無料利用など、人口増加につながる施策が実施されている。宇都宮市も同様の施策で人口増加傾向に寄与している。今後、「施設の拡充」「親が育児に集中できる環境整備」など提言したい。	⑥
引田	・個人宅への水道引き込みには、公道であっても個人負担が発生する。例として、50m 離れた本管から自宅までの敷設費用が高額となる。地下水利用のリスクを踏まえ、公共水道の利用を希望する声もあるが費用負担が大きな障壁となっている。水道メーターの設置位置は自宅敷地内であるが、そこまでの敷設も全て個人負担で、電気やガスの場合、メーターまでの敷設費用は事業者が全額負担している。水道のみ個人負担が大きい点に不公平感があると感じる。市側は「予算がない」と回答しているが、公共サービスの一環として限度額を設けた助成制度の創設について伺う。特に市北部など過疎地域では、助成制度導入により水道普及率向上が期待できると思う。	・水道事業は公営企業法に基づく営利事業であり、営利に対してはしっかりとした理屈で対応している。例えば、県道・国道を横断する場合、工事費は 100 万円近くかかることもある。しかし、複数件まとめた申請であれば費用軽減の可能性もあると見込まれる。道路敷設部分も個人負担である現行ルールに対し、「公道であっても個人負担とは納得できない」との意見を踏まえ、「地域住民が負担できる限度額を設けた助成制度」の創設を議会で提案することを検討したい。調査確認③	⑦
上日向 下日向	・学校統廃合により新設校ができる際には、子どもたちが喜んでその学校に通学できる、また保護者がその学校に通学させたいと思えることが重要である。そのため、開校準備会では、若い世代の意見を反映させていただきたいと考えている。しかし、開校準備会の委員の推薦依	・統合される加園小地区において、地域の人口減少も進む中での学校統合の影響は確かに大きいと考えている。しかし一方で、PTA や保護者からは「少人数では社会性や集団生活の学びが得られない」として統合を支持する声も多く聞く。学校がなくなること地域活動が停滞する	緊急対応 ⑧A

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として伺った事項 (含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
	頼があったため、若い方を推薦したところ、教育委員会より「団体の長を推薦してほしい」との要請を受けた経緯がある。これでは、若い方の芽を摘んでしまっていると思う。	懸念も根強い中での統廃合、特に統合される地域への配慮も大切であると感じている。 ・統合される地域での懸念、「沢には沢の文化がある」という金言に裏打ちされた伝統文化消滅への気がかりも理解できる。しかしそれぞれの特徴ある地域特性を踏まえた、事業なども想定していて、これらの教育方針にも期待したい。ただ開校準備会における人選について、教育委員会が主体的に進めてはいるが、事実関係を確認し、前向きでやる気のある保護者や地域の人が委員になれるよう提言したい。 緊急対応 ④	
協議会 会 長	・鳥獣対策について、「被害が少なくなった」「効果抜群だった」との評価があった。また、大芦川周辺の環境保全対策について、バーベキューやごみ問題も規制が進み、「地域でごみが少なくなった」ことの報告と感謝を締めくくりとして地域を代表して表明したい。		○

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
● 議会に対する意見
○ ご意見として何った事項 (含む情報提供)

●東大芦地区 現地確認及び執行部への確認事項(8項目)

市民の意見	市への要望事項
①西小学校の通学路脇のフェンスが大きく歪んでおり、学童の安全確保の観点から、市での対応を要望。土地改良区での対応が困難である。	・西小学校付近の道路脇フェンスの状況を現地確認した資料を添付。児童の安全確保に向け市へ対応を求める。
②子どもたちが農道を通学路として利用している。通勤時間と重なり自動車が抜け道として通過する。歩道がなく非常に危険な状況。歩道整備をお願いしたい。	・現地道路を確認。現地の地図と現場写真を添付して、市へ対応を求める。
③50年以上経過した土地改良による用水管、排水管の老朽化が深刻化している。漏水が激しく、必要な時期に水が確保できない。修繕を市をお願いしたい。	・農繁期のため、稲刈り後の閑散期でないと現地確認はできなかったが、自治会からの切実な意見があった。市の対応策を求めたい。
④公共施設を避難施設として指定しているが、東大芦コミュニティセンターは耐震基準に合わず指定できないと聞いている。この現状について市はどのように考えているのか。	・鹿沼市公共施設等総合管理計画における東大芦コミュニティセンターの考え方や、東大芦地区での避難所設置への市の考え方を伺う。
⑤自治会の活動が少子高齢化の影響し、著しく困難になっている。担い手や自治会加入者が減少し、運営が厳しくなっていて「自治会の存続など将来への不安」がある。また、調整区域のため新規住宅建設が難しく、人口増加が見込めない地域であることも一因ではないか。	・人口減少と少子高齢化が、東大芦地区での自治会活動の将来に不安がある。調整区域の緩和策を求める声もある。市の考え方を伺う。
⑥子育て世代から「雨の日に子どもを遊ばせる屋内施設がない」とした声を多く聞く。子育て環境の整備も人口減少対策へ有効と思う。	・子育て世代が楽しめる施設の拡充、親が育児に集中できる環境整備を求める声は多い。市の対策を求めたい。
⑦水道引き込みについて、限度額を設けた助成制度の創設について聞きたい。特に北西部など過疎地域では、助成制度導入により水道普及率が向上するのでは。	・現地状況を確認。現地の地図と現場写真を添付して、水道普及に向けた市の対応を求める。
⑧小中学校の統廃合計画について、地域の若い世代の意見が開校準備会等で十分に反映されていないのではないかと。	・開校準備会の開催日程が近いこと「ホットライン」として先行して回答を求めている。

南摩地区

開催日：令和7年7月4日（金）

開催場所：南摩コミュニティセンター

出席議員：横尾武男、小島実、阿部秀実、梶原隆、駒場久和、早川勝弘
谷中恵子議長、石川さやか副議長

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
旭が丘	・ごみステーションに関する陳情の内容及び不採択の理由を教えてほしい。 ある班長から「曜日の違った日にごみを出す人がいる」「赤い袋が一度に数多く出された」「狭い幅の道のネットが破られた」と意見があった。翌日クリーンセンターへ問い合わせるが、「ネットの管理は自治会に任される」とのこと。あちこちで発生している案件なのか。歩道にごみステーションがある場合に、見張ってはいられない。不法投棄に対して解決する方法はないだろうか。不法投棄の問題解決に取り組んでほしい。 「自治会費を払っていない人がごみステーションに捨てていいのか」の問い合わせに対し「いいです」との返答であった。市民が誤解を生まないような適切な返事を検討する必要があるのではないだろうか。	・ごみステーションへの不法投棄に関する件は、現状の条例が適用できてくる。	①
		・ごみステーションは基本的に、ごみステーションを使用する人達が掃除などの管理を行うことになっている。	
		・本会の内容は、環境部をはじめ関係部署に伝えて回答を求めています。	
西沢町	・個人が使用したペンキの空き缶は、どこに出すのか。ペンキを購入した店舗で回収してもらえるなど対策はないか。	クリーンセンターに確認して回答します。	②
西沢町	・議員定数についてどの様に考えているのか。	長年の課題であったが、議会改革特別委員会において議論をしており、現在まとめの段階であり、削減の方向では進んでいるが、定数は未確定です。	●
下南摩町	・南摩中学校は西中と統合、南摩小学校は南摩小学校と上南摩小学校を新たな南摩小学校として現南摩中学校舎を使用し		③

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
● 議会に対する意見
○ ご意見として何った事項（含む情報提供）

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
	て開校する。要望として、新たな学校に統合するに当たり、様々な意見を開校準備会で進めていくと思うが、経済負担や登下校、学童保育会等の問題のフォローをお願いしたい。 今後も少子化は進んでいくと思われ、小規模校であることには変わらない。「残して良かった」と言えるような学校になるように、例えば、小規模特認校として、鹿沼市内からどこからでも通えるような制度にできないだろうか。 (宇都宮・栃木市の先進事例) 現在、南摩小はインクルーシブ教育モデル校になっており、そういった教育に特化した学校や、不登校対策に特化した学校などを作ってはどうか。より多くの専門知識を持ったスタッフを配置して、きめ細かくこどもに対応できる学校にしてほしい。 統合によって廃校になった学校の利活用について考えてほしい。南摩小学校は給食施設があり食堂として活用できないか、上南摩小学校はスノーピークにも近く、学校に泊まれるキャンプ場などを提案したい。資金面での補助も検討してほしい。		
上南摩町	・消防団員の人員の確保が急務である。少子高齢化・人口減少で確保が難しい。ここ数年新規団員が確保できず、高齢化も進み活動期間も長期となる。また、会社勤めが多く緊急時に出勤も難しくなっている。 行政も活動しているが、消防団活動への協力を企業に求めているが、消防団カードを使えるお店が実情は少ない。 消防団員の待遇改善や負担軽減に努めて、消防団の魅力作りを進めてほしい。		④

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として何った事項(含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
	2階の待機部屋にエアコンが無く、待機命令があっても長時間待機が難しい。ぜひエアコンの設置を希望する。		
西沢町	・農業生産法人かぬまの受入れが逼迫している。もう一箇所の農業法人の設置を検討してほしい。また、広い農地は請け負ってもらえるが、狭い農地は請け負ってもらえない現状がある。小さい機械でもやっていける組織形態を作ってはどうか、遊休地の解消や活用、担い手の育成になるのではないかと思う。 ・2020年の備蓄米があるのが疑問だ。これまでのやり方を変えて、種をばら撒いて生育する方法を検討できないか。 栃木県の郷土に合う新手法を検討してほしい。 備蓄米の活用については、政府に対する疑問や不満を持つ人がいることも承知してほしい。		⑤ ○
西沢町	・土地改良をすると県補助により県道を舗装してもらえるが、農道なのに70cmも掘り返す必要があるのか。大型ダンプ等が走らないので半分の深さでも良いのではないかと思う。費用削減分を、もっと舗装工事の距離を延長できるのではないかと思うので、議員が調べて県に要望してほしい。		⑥
西沢町	・学校の統廃合により学校校舎が空いてしまう。学校開放制度を使ってバドミントンをやっている。「統合後も当面は使用できる」と言われている。 南摩小学校の体育館を使う競技が難しくなってしまう。南摩中学校の体育館は少し狭い。なおかつ体育館が老朽化している所以今後検討してほしい。		⑦

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
● 議会に対する意見
○ ご意見として何った事項(含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
旭が丘	・高齢者のための交通手段を要望したい。西沢地区はリーバスからデマンドバスに変わった。デマンドバスは電話をして利用するため自由が効きにくい。また、身体が不自由な方は介護タクシーを使うが、要介護認定が必要となる。しかし、介護認定が無いが足腰が万全でない方は、バスの利用が難しく、こうした方に、支援が届いていない。 ファミリーサポートセンターは子育てを対象とするが、高齢者の方に対するシルバーサポートセンターがあると良いと思う。		⑧
西沢町	・高齢化が進み、我が地区は高齢者率が40%を超えた。団塊の世代が75歳になる2025年問題もある。 立木伐採の後の材木の処理に困っている。本当は燃やしてはいけないのに燃やしていることへの対策を検討してほしい。 買い物難民の問題として、地元のスーパーで一度に大量の買い物をしている高齢者を見かける。毎日買いに行けないことへの反動だろうか。旭が丘に移動スーパーが来ているが、南摩地区では唯一である。 ・益々増える空き家の解決について、今後の議会の課題として検討してほしい。		⑨
佐目町	・小中学校の統合に関して、中学校は西中になり通学距離が長い。今後スクールバス等でも安全に登下校できるような配慮をお願いしたい。		⑩
西沢町	自治会が、選ばれた役員だけで勝手に公民館のトイレにシャッターをつけ、鍵をつけてしまい使えない状況。自治会が一般の方を集会に呼ばないため、どのような話になっているかもわからない。自治		⑪

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として伺った事項(含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分 類
	会の権力が強すぎる。また、自治会の役員選出について、選挙で決めることもなく、身内だけで決めている。自治会に対して、民主的ではないことをやらないよう、市から指導してほしい。		
油田町	・この地区は高齢化しているが南摩には医者がいなくなってしまった。南摩住民は、病気の時に遠方まで通院しなければならない。地域に診療所等を開設することを検討してほしい。		○
西沢町	・公民館トイレについて、男子小便器に大便をされてしまった。理事に相談してシャッターを締めてくれということになった。 ・南摩中の体育館にクーラーを設置してほしい。		○
佐目町	・北半田に抜けるバイパスや清南橋も開通し交通事情が良くなったが、清南橋からコミセンに抜ける道は、狭い農道にもかかわらずハイスピードで抜けていく車や大型ダンプも多い。清南橋から北進する道路整備を早めてほしい。		⑫
油田町	・コミセン前の道路は 40 年前にできた。以前の路盤工事が浅かったのか、大型ダンプが通ることも多く、道が荒れてしまっている。ダンプのショートカットも多い。数年前には水道管も破裂した。強度をもった舗装工事の必要があるのではないか。 ・堆肥化センターの屋根が抜けており、臭いもして、地元から苦情が出ている。現状と今後の計画を知りたい。	現地確認①	⑬ ⑭
西沢町	高木校庭について、グランドゴルフやゲートボールなどで使用しているが、ぜひ管理してほしい。自治会で管理するのは難しい。草刈りボランティアでは限度があり、市として公園化してほしい。	現地確認②	⑮

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として何った事項 (含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
西沢町	・県道 177 号線にて山側から枝や竹が出ている現状を県に相談したが「個人のものだから」との返答だった。個人のものとはいえ、県道の管理の一環として対策を進めてほしい。	現地確認③	⑬
上南摩町	・上南摩はダムを抱える地域である。議員としての仕事も長いスパンで考えて仕事をしてほしい、と要望する。		●
旭が丘	・時代と共に高齢化し、旭が丘団地も造成から半世紀が経ち、高齢化率 60%を超えていると思う。介護施設入居も増え、空き家も増えている。地区には約 200 区画住宅の 17% 34 件の空き家があり、管理はされず環境衛生面で周囲に悪い影響を与えている。空き家バンクなどの制度・対策はあるが売買・賃貸までは至っていない。近隣の大規模工場の住宅として利用して頂いたり、新規就農者に対しての住宅提供により、若い世代も増えていくのではないかと。 旭が丘団地入口の県道の北側の石積みブロックの上が急勾配で、真上の樹木から真下の県道に枝等が落ちてくるが、地元住民が片付けている。のり面の落下防止のネット等の工事を検討してほしい。 旭が丘団地の市道の舗装に穴が空いたり、下水蓋が老朽化して音がしたり不具合が生じている。その都度点検補修をしていただいているが、一旦団地内のマンホールの総点検をして計画的に実施してほしい。	現地確認④	⑭
下南摩町	・大芦川について県の河川課より治水の説明を受けた。以前の災害で、災害を受けたところも、今後の降雨量によると、かなりの確率で水害が起こる覚悟をしなければならないのか。治水面から見れば、東大芦ダムについて、一旦中止になった		○

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
 ● 議会に対する意見
 ○ ご意見として伺った事項 (含む情報提供)

発言者 地区名	市民の発言要旨	議員の回答要旨	分類
	ダム工事も復活検討しても良いのではないかなと思う。イノシシに堤防がやられている現状もある。 ・道路問題について、楡木バイパスの未完、ファナックへの道路について、道路整備を検討・要望してほしい。 ・粕尾峠にトンネルを掘ってほしい。足尾にトンネルが抜けることで、交通網がより整備されるのではないかなと思う。		
その他 ご意見	・鹿沼運動公園の、トイレ・ベンチの更新を希望する。また、市街地中心部への開発・資金投入だけにとどまらず、西部地区の発展にも投資をしてほしい。		⑱
	・宇都宮・鹿沼地域の降雨の際、宇都宮市に警報発令したが鹿沼市には出なかった。鹿沼市に問い合わせると「宇都宮地方気象台が管理している」と言われ、宇都宮地方気象台に問い合わせると、「雲の切れ間があったので警報を出すのが遅れた」と言われた。いざ警報が出ても暗くなってしまったら避難ができない。家にいるしかなくなってしまう。		⑲

番号 ①～ 現地調査等を行い市長からの回答を求めるもの
● 議会に対する意見
○ ご意見として何った事項 (含む情報提供)

●南摩地区 現地確認及び執行部への確認事項(19項目)

市民の意見	市への要望事項
①ごみステーションへの不法投棄に対して解決する方法はないだろうか。不法投棄の問題解決に取り組んでほしい。 「自治会費を払っていない人が、ごみステーションに捨てていいのか」の問い合わせに対し市から「いいです」との返答であった。市民が誤解を生まない説明が欲しい。	・ごみステーションでの不法投棄の問題と、適切な利用方法について、市としての説明や案内をわかりやすくして欲しいとの意見があった。考え方などを伺う。
②個人が使用したペンキの空き缶は、どこに出すのか。購入した店舗で回収してもらえるなど対策はないか。	・ごみの分別回収方法などについて、不明なときの対応について確認したい。
③小規模特認校として、鹿沼市内からどこからでも通えるような制度、インクルーシブ教育や不登校対策に特化した学校を作ってはどうか。また、統合によって廃校になった学校の利活用として、南摩小学校の給食施設を活用した食堂や、上南摩小学校はスノーピークにも近く、学校に泊まれるキャンプ場の整備など提案したい。	・学校再編計画による地域の変化に対する住民側の立場としての考え方や地域活性化への思いなどを聞かせていただいた。市として学校が閉校する地域への見解を示して欲しい。
④消防団員の人員の確保が急務である。少子高齢化、人口減少で確保が難しい。消防団員の待遇改善や負担軽減に努めて、消防団の魅力作りを進めてほしい。また、待機部屋にエアコンが無く、待機命令があっても長時間待機が難しい。エアコンの設置をお願いしたい。	・消防団の人員確保へ待遇の改善は課題であると認識している。対応策を検討していただきたい。また、猛暑が深刻になっている今、各分団の待機所にエアコン設置を要望する。
⑤農業生産法人かぬまの受入れが逼迫している。もう一箇所の農業法人の設置を検討してほしい。広い場所は請け負ってもらえるが、狭い場所は請け負ってもらえない現状がある。小さい機械でもやっていける組織形態を作ってはどうか。	・農業の活性化や担い手育成、休耕地対策として意見をいただいた。今後の対応策について市の考えを伺う。
⑥土地改良をすると県補助により県道を舗装してもらえるが、農道なのに70cmも掘り返す必要があるのか。大型ダンプ等が走らないので半分の深さでも良いのではないかと思う。費用削減分で、もっと舗装工事の距離を延長できるのではないかと思う。	・土地改良区からの意見として聞かせていただいた。県補助との関係ではあるが、考えを伺う。
⑦学校開放制度を使ってバドミントンをやっている。「統合後も当面は使用できる」と言われているが、今後の体育館利用が不安。南摩中学校の体育館では少し狭く、老朽化しているので、引き続き南摩小の体育館を利用したい。	・学校再編計画による課題の一つとして聞かせていただいた。閉校後の学校利用について考えを伺う。

◎南摩地区 現地確認及び執行部への確認事項(19項目)

市民の意見	市への要望事項
⑧西沢地区はリーバスからデマンドバスに変わった。デマンドバスは電話をして利用するため自由が効きにくい。介護タクシーを使うには、要介護認定が必要となる。高齢者の方に対するシルバーサポートセンターがあると良いと思う。	・予約バスが使いにくいとの感想と、高齢福祉の拡充に向けたシルバーサポートセンターの提案があった。市の考えを伺う。
⑨立木伐採の後の材木の処理に困っている。本来、燃やしてはいけないが燃やしている。対策を検討してほしい。	・ごみの分別回収方法、伐採材木の処分の対応について伺う。
⑩小中学校の統合に関して、中学校は西中になり通学距離が長い。今後スクールバス等でも安全に登下校できるような配慮をお願いしたい。	・学校再編計画による小中学生の通学の安全についての意見。市の対応策を伺う。
⑪自治会が、選ばれた役員だけで勝手に公民館のトイレにシャッターをつけ、鍵をつけてしまい使えない状況。自治会が一般の方を集会に呼ばないため、どのような話になっているかもわからない。自治会の権力が強すぎる。また、自治会の役員選出について、選挙で決めることもなく、身内だけで決めている。自治会に対して、民主的ではないことをやらないよう、市から指導してほしい。	・地域間の課題ではあるが、地域支援として市の考えなど聞かせてほしい。
⑫北半田に抜けるバイパスや清南橋も開通し、清南橋からコミセンに抜ける道は、狭い農道にもかかわらずハイスピードで抜けていく車や大型ダンプも多い。清南橋から北進する道路整備を早めて欲しい。	・清南橋から南摩コミセンに抜ける道路は交通量が増えている。水道管破裂の事故もあった。安全確保のために道路を整備してほしい。
⑬コミセン前の道路は40年前にできた。大型ダンプが通ることも多く、道が荒れてしまっている。数年前には水道管も破裂した。強度をもった舗装工事の必要があるのではないか。	・コミセン前の道路整備は、前項と同様で清南橋の整備で交通量が増えたことも起因の一つ。安全確保のために道路を整備してほしい。
⑭堆肥化センターの屋根が抜けており、臭いもして、地元から苦情が出ている。対策や修繕など、現状と今後の計画を知りたい。	・堆肥化センターの課題は、議会質問などでも取り上げてきた。管理、運営、近隣への対策などについて伺う。
⑮高木校庭について、グランドゴルフやゲートボールなどで使用しているが、管理してほしい。自治会で管理するのは難しい。草刈りなどボランティアでは限度があり、市として公園化してほしい。	・高木校庭の公園管理についての要望を意見として聞かせていただいた。現地確認の資料を添付するので、確認の上、市の対応策を求める。

●南摩地区 現地確認及び執行部への確認事項 (19 項目)

市民の意見	市への要望事項
⑯県道 177 号線にて、山側から枝や竹が出ている現状を県に相談したが「個人のものだから」との返答だった。個人のものとはいえ、県道の管理の一環として対策を進めて欲しい。	・道路にはみ出した枝類が道路通行の時に危険という意見があった。通行の安全確保のための対策を求める。
⑰旭が丘団地入口の県道の北側の石積みブロックの上が急勾配で、真上の樹木から真下の県道に枝等が落ちてくる。のり面の落下防止の工事を検討してほしい。 旭が丘団地の市道の舗装に穴が空いていたり、下水蓋が老朽化して音がしたり不具合が生じている。その都度点検補修をしていただいているが、団地内のマンホールの総点検をしてはどうか。	・旭が丘団地入り口に面している県道 337 号線の道路の石積み擁壁ブロックの上から、樹木の枝等が道路に落下してくるので、対策をして欲しい。また、旭が丘地域の住民から、老朽化した道路、マンホールの総点検の要望がある。市の対応策について見解を聞きたい。
⑱鹿沼運動公園の、トイレ・ベンチの更新を希望する。また、市街地中心部への開発・資金投入だけにとどまらず、西部地区の発展にも投資をしてほしい。	・鹿沼運動公園やオハンいちごパークの老朽化したトイレ、ベンチの更新整備は各方面からも意見がある。対応策を求める。
⑲宇都宮・鹿沼地域の降雨の際、宇都宮市に警報発令したが鹿沼市には出なかった。宇都宮地方気象台に問い合わせると、「雲の切れ間があったので警報を出すのが遅れた」と言われた。いざ警報が出ても暗くなってしまったら避難ができない。警報など情報伝達を的確に望む。	・気象情報は防災の観点から重要であり、本市では防災情報アプリ「インフォカナル」が活用されているが、馴染めない高齢者もいる。警報の伝え方など市の見解を求める。